



「ふれあいの里山」復活大作戦

日時	2016年11月5日(土) 10時00分～ 15時00分		
場所	金ヶ崎公園		
参加者	エコウイング会員／2名、 団体会員(明石高専:午後のみ)／4名、 その他／2名(1名:午前のみ)、 事務局／1名		計／9名

● 午前

11月に入り、今日の金ヶ崎公園は落葉樹が色づき始め、すっかり晩秋の風情でした。天気は、ほぼ一日中青空が広がり、朝は気温が下がったものの昼前には「小春日和」になり、快適な活動ができました。

今日は、午前中は初参加された方が2名おられたものの、総勢5名という少数参加者でした。先月までより1時間遅い朝10時に集合し、午前中はいつものように公園内の観察コースを一巡りして市民自然図鑑の昆虫観察をしました。

最初はまだ気温が低いこともあって、ほとんど昆虫は姿を見せませんでしたが、公園内に日差しが届いて暖かくなるにつれてチョウやトンボ、バッタなどのなかまが観察できるようになってきました。

● 午後

午後には、明石高専の先生と学生の皆さんが4名参加され、8名のメンバーで公園内の整備活動をしました。まず、野鳥が水浴びをする小川の草取りをしました。草が生えていると野鳥が水浴びをしにくいからです。

次に、公園内の「ナラ枯れ」被害木を学生さんたちに見てもらい、カシノナガキクイムシが原因であること、兵庫県内の被害が北部から南部へ広がってきていることなどについて理解してもらいました。

その後、散策路の階段の改修をしました。階段の横木や杭が腐っている場所があり歩きにくくなっていたため、新しいものに交換する作業をしました。初めて活動に参加した学生さんもありましたが、階段の材料の木を伐り倒したり、杭を打つ作業に取り組んでももらいました。最後に、ここ数年手入れをしていなかった雑木林で目立ち始めた常緑樹の除伐作業もしてもらいました。

午後3時に今日の活動を終了しましたが、初参加の皆様から「楽しかった」という感想をいただきました。

- 次回の活動は12月3日(土)の予定です。次回も、朝の気温が低いと思われるため、今月と同様に活動開始時間を朝10時からとします。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

昆虫観察の様子(その1)



昆虫観察の様子(その2)



「ナラ枯れ」被害木を観察



散策路の階段改修用の木を切る学生さん



散策路階段の改修作業



常緑樹の除伐作業



改修を終えた階段をバックにした今日の参加者の集合写真



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日の金ヶ崎公園は、晴れ間は広がったものの気温があまり上がらず、観察して撮影できた昆虫はあまり多くありませんでしたが、日差しが届き始めるとチョウやトンボ、カマキリ、スズメバチ、バッタのなかまなどが色々と姿を見せ始めました。秋も深まった季節なので、チョウのなかまは翅が傷んだものが目につきました。また、クモのなかまも色々と姿を見せました。

翅が傷んだウラギンシジミ



ヤマトシジミ



翅が傷んだキタキチョウ



クロコノマチョウ



テングチョウ



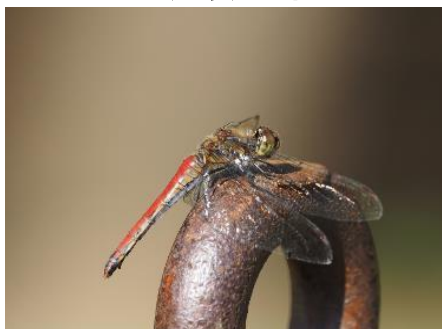
ムラサキシジミ(翅の表)



ムラサキシジミ(翅の裏)



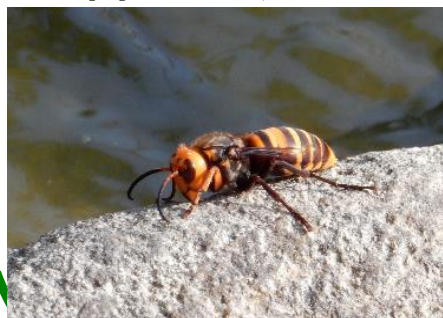
アキアカネ



ハラビロカマキリ



オオスズメバチ♂



セグロアシナガバチ



アオマツムシ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

野鳥では、早くも冬鳥のジョウビタキが姿を見せたほか、コゲラ、ハクセキレイ、キセキレイ、モズ、エナガ、メジロなどが観察されました。その中で、メジロは熟したカキの実を食べに来ていました。

植物は、この時期目立った花などは咲いていませんでした。キノコのなかまでは、枯れかかったコナラの幹に淡褐色の削った経節の塊のようなキノコが生えていました。ハナビラニカワタケではないかと思われます。

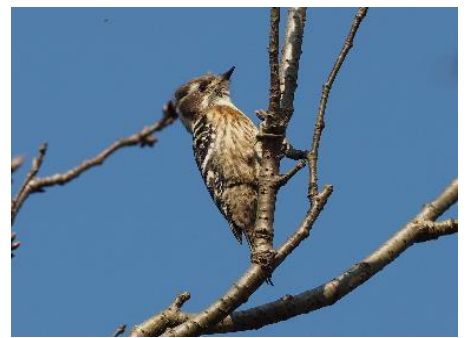
ジョウビタキ(オス)



ジョウビタキ(メス)



コゲラ



ハクセキレイ



キセキレイ



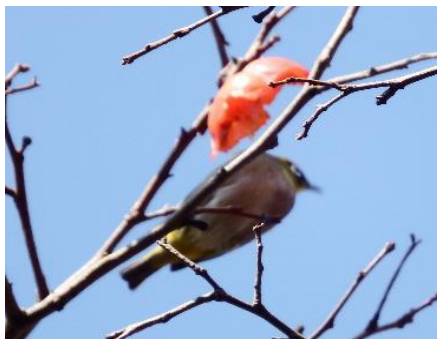
モズ(オス)



エナガ



熟したカキの実を食べに来たメジロ



ハナビラニカワタケ？

